

令和 5 年度 学校自己評価システムシート (武南高等学校)

目指す学校像	豊かな人間性の確立を目指し、学力の向上、健康な心身の育成を図り、志を高く持ち、21世紀の社会に貢献できる自主・自立・自学・協同の精神に満ちた生徒を育成する。
--------	--

重点目標	1 授業の充実・指導改善 2 開かれた学校づくりの推進 3 学力の向上と希望進路の実現 4 品格ある生徒の育成 5 特別活動、部活動の充実と振興
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校関係者	3名
-------	----

学校自己評価							
令和 5 年度評価 (2024年4月4日現在)							
年度	目標	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	授業の充実・指導改善	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究を一層進め、授業改善を一層図り、教科全体の指導力向上を図る必要がある。 大学入試問題の研究を授業改善に生かすよう努める。 生徒の家庭学習時間を増やし、学力の向上につなげる必要がある。 思考力、判断力、表現力を向上させる手立てが必要である。 他校の情報を得る機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業見学週間を活用し相互に授業参観を行うとともに、教科会等で意見交換を行う。 大学入試問題の研究を進め、授業改善に生かす。 管理職全員による授業観察を実施し、教職員にフィードバックする。 生徒による授業評価を行い、その結果を教科会で共有し改善を図る。 他校への視察や研修会に積極的に参加し、授業の様々な手法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察週間による相互の授業参観の回数や意見交換の内容等。 相互の授業参観や大学入試問題研究を教科会で検討できたか。 管理職による授業観察の回数とフィードバックの内容等。 生徒による授業評価の実施と教科で共有ができたか。 他校への視察の回数と研修会等への参加状況。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究週間に相互の授業観察を60回実施し教科会で意見交換を行い授業に役立てた。 管理職が全教職員の授業観察を行い指導助言を行った。 生徒による授業評価を実施し本人と管理職で共有した。 文教大学の阿野教授を招いて職員研修会を実施した。 桐蔭学園、浦和第一女子高校、草加東高校3校を訪問。 教育センターへの研修参加。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察週間実施後の、教科での検討には、教科全体で積極的に協議を進め、授業改善を行うことが必要である。 大学入試問題研究は個人内研究のみならず、教科全体で実施するよう努める。 生徒による授業評価を個人内から教科毎に研究・検討をする。 英語科で実施した外部講師を招いての研修は有効であり、他教科にも広げる。
2	開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地元の小中学校や地域住民との交流が図られていない。 蕨・川口地区の地域に開かれた取り組みを進める必要がある。 ホームページの充実を図るとともに、SNSの活用を検討を行う。 学校の教育活動を発信することが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元の小中学校やコミュニティセンターでの交流や発表の実施。 中学校訪問による情報提供の機会を広げ、入試情報の提供を行う。 ホームページの更新の機会を増やし、情報の発信に努める。 学園だよりの発行とともに公式SNSの活用を引き続き検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校との交流やコミュニティセンターとの連携が図れたか。 中学校への学校訪問と情報提供の回数等はどれくらいであったか。 ホームページの更新回数と閲覧状況等はどれくらいであったか。 学園通信やICTのツールを活用し効果が見られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 吹奏楽部が蕨東中学校と合同でXmasコンサートを実施。 吹奏楽部、書道部、美術部が生涯学習フェスに参加出品。 蕨市青少年祭りにボランティアとして10名が参加した。 中学校157校を訪問し、31,280人分の広報誌(武南チャレンジ)を配布した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 文化部での地域との交流を積極的に進めるとともに、さらに連携の方策を模索する。 引き続き、中学校を訪問し適切な情報の提供に努める。 ホームページを組織的、戦略的に適宜更新し、最新の情報の提供に努める必要がある。 学園通信は12月号まで発行済み。
3	学力の向上と希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> 予習、復習を徹底する生徒の割合を増加させる必要がある。 生徒の家庭学習時間を増やし、学力の向上につなげる必要がある。 希望進路の目標が低く安易な進路選択をする生徒がいる。 生徒の進路の幅を広げ、国公立大学進学のための取り組みを充実させる必要がある。 教科等での組織的な講習が実施されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に「予習→授業→復習」を意識させた授業作りを一層進める。 教科で「週末課題」等の実施により家庭学習時間の増加につなげる。 社会人から学ぶや、各コース別進路ガイドダンスや説明会等を実施する。 生徒の志を高めるために講演会やセミナーを企画する。 進路指導部と教科で実効性のある講習会の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業評価で予習の割合。 家庭学習時間の増加の割合。 各種講座や説明会の実施回数とアンケート結果。 講習の講座数と生徒の参加状況。 講演会やセミナーを実施した時の参加者の人数や効果。 一般受験の生徒数と国公立大学の志願者数。 国公立大学、難関私立大学の合格者数。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常講習 全56講座 479名。 夏期講習全59講座、2,457名 進路ガイドダンス19回実施し、進路意識の高揚を図る 近藤耕太さん(MIT)講演会の実施、150名が参加した。 国公立大学志願者数68名 一般受験志願者数194名 国立大学合格者数29名 早慶上理大合格者数23名 GMARCH合格者数92名(2024/4/4現在) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 「予習→授業→復習」を意識させた授業作りは生徒にも定着しつつあるので一層進める。 キャリアモデルとしての卒業生の講座(社会人に学ぶ)の開講は、生徒の興味関心の幅を広げるのに有意義な機会である。 私立難関大学の合格者が増え、国公立も後期試験まで粘り強く、受験している。今後も引き続き、生徒の進路希望の実現に努めることが必要である。
4	品格ある生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 明るくさわやかな挨拶を徹底するよう指導することが必要。 生徒指導心得の見直しの検討が必要。 身だしなみ指導と遅刻指導を一層進める必要がある。 ネットモラルの構築や、それに関わるいじめを許さない指導の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 登校指導をはじめ、全教職員が率先してあいさつの励行に努める。 生徒指導心得の研究・検討を行う。 服装検査のみならず、通常の生活の中での指導を徹底する。 ネットモラルの講義をはじめホームルーム等で指導し、いじめに繋がらないよう指導の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は明るく爽やかな挨拶ができるようになったか。 生徒指導心得の研究・検討のための取組が進められたか。 服装頭髪といった身だしなみ指導は徹底できたか。 生徒指導件数、ネットトラブル件数はゼロであったか。 遅刻指導の減少が図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るくさわやかな挨拶ができるようになってきている。 生徒指導心得の研究のために生徒指導機関研修会(文科省)に参加し、生徒指導心得の研究を行った。 生徒指導3件、ネットトラブルでの指導1件(懲戒0) 遅刻指導数18人(昨年比+7) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、明るくさわやかな挨拶がしっかりとできるよう指導することが大切である。 多様な価値観にも配慮した、生徒指導の在り方を見直す。 ネットトラブルを防止するための取組を粘り強く行う。 家庭と連携して引き続き、基本的生活習慣の確立を目指す。
5	特別活動・部活動の充実・振興	<ul style="list-style-type: none"> 部活動で「自主、自立、自学、協同」の精神の涵養を図る必要がある。 勉強と部活動の両立が図れていない生徒が見られる。 運動部のみならず、文化部の振興を図る。 文化祭、体育祭は実施できたが、保護者や受験生等を入れての実施ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒各々が自主的・計画的に時間を管理できるよう指導する。 部活動休養日の設定による家庭学習時間の確保と部活動の活性化を図る。 管理職による部活動見学を行い、実態の把握と支援を行う。 文化祭、体育祭は段階的に保護者を入れての実施を目指し、生徒の学校生活への意欲や学園への帰属意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の加入率と参加状況。 部活動加入生徒の学習の成績状況はどうであったか。 関東大会、全国大会の出場者数と前年度の活動結果を上回った部活動数。 文化祭、体育祭は保護者を入れて実施できたか。修学旅行は工夫して実施できたか。 文化部の活動の活性化と振興は図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の加入率88%(+3.7) 関東大会(柔道、陸上、サッカー、ダンス、水泳、新体操) 全国大会(陸上、サッカー、水泳、ダンス、柔道) 書道部-読売書法展入選等 文化祭、体育祭は、人数を制限してではあるが保護者・一般客を入れて実施できた。 修学旅行も国内(九州)に代替え感染防止の上実施した。 文化部も校外の発表の機会が増え、成果を上げつつある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 今後も新入生に部活動加入を勧め、建学の精神の一層の涵養に努める。 特に文化部の活性化の方策を検討し、振興を図る。 部活動の休養日の設定と家庭学習の確保の検討を進める。 文化祭の一般公開の制限の緩和 体育祭の公開の仕方を検討する 来年度実施するシンガポール修学旅行の実施と海外修学旅行の在り方の検討を引き続き行う。

学校関係者評価	
実施日	令和6年3月19日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>他校を訪問して研修することは良いことなのでどんどん取り入れて欲しいと思う。外部講師による研修などで教育力を高めていると感じた。</p> <p>指導力向上には授業観察と助言が欠かせないので良い取り組みであると思う。生徒から見た授業評価は授業を受けている立場からの直接的な評価なので今後も継続していただきたい。</p> <p>コロナも落ち着き、地域の方と交流する機会が増えるので武南の魅力を広めて欲しい。地域との協力があっての学園であり、交流を大切にしたい。</p> <p>高校の部活と中高連携が取れたので感謝している。中学校で武南学園通信を掲示しているが、生徒や保護者がよく読んでいたので続けていただきたい。</p> <p>「社会人に学ぶ」は将来の目標を持っている生徒には受験へのモチベーションになるので続けていただきたい。</p> <p>国公立大学や難関私立大学の合格者が増えているので誇らしく思う。進学実績は生徒、保護者にとって興味関心の高い内容であり、今年度も素晴らしいと感じている。</p> <p>自転車に乗っている生徒が一時停止するなどマナーが良いと感じた。明るくさわやかな挨拶は多くの生徒ができていてと思うので、今後も指導を継続して欲しい。</p> <p>生徒数が増えればトラブルをゼロにするのは難しい。ネット社会のトラブルは表には出てこないことが多いので、粘り強く細かな指導をお願いしたい。</p> <p>働き方改革による部活動のガイドラインがある中で、効率の良い、質の高い活動でこれらの成績を収めている点は素晴らしいことだと思う。今後も文武両道を目指す生徒がさらに増えていくことに期待する。</p> <p>文化祭は入場制限があって保護者の中でも見学できた人と抽選にもれた人がいた。より多くの人が見学できるようにして欲しい。</p>	